

ここを聞きました!



代表質問 新風の会 金尾恭士

「観光施策について」
「学童保育、学校給食センターの民間委託について」



森上昌生

「野良猫対策について」
「新消防庁舎について」
「高梁認定こども園（仮称）について」
「市長の5選について」



小林重樹

「公共交通について」
「行財政改革プランについて」



森 和之

「市の広報について」
「高梁川水系中上流ブロック河川整備計画について」
「子育て施策について」
「学童保育について」
「清水比庵について」
「市街地の町並み整備について」



伊藤泰樹

「高梁市こども計画（仮称）策定に関する調査での若者・子育て世代の声への対応について」
「上水道について」
「地元商工業について」
「空き地荒廃対策について」
「学力・学習状況調査について」



宮田公人

「高梁国際ホテルについて」
「ラ・フォーレ吹屋について」
「縮小社会における行政運営の在り方について」



平松久幸

「（一社）高梁市観光協会について」
「地域イベントの今後について」
「観光振興と地域経済について」
「デジタル化の推進について」



川上博司

「健康増進と医療費抑制について」
「リチウムイオン蓄電池などの小型充電式電池の拠点回収について」
「職員給与について」



石部 誠

「市長の観光協会会长就任について」
「事業の民間委託や施設の指定管理について」
「国保税の引下げについて」



▲備中たかし松山踊り市議会連

8月16日、県下3大踊りの一つである「備中たかし松山踊り」団体連踊り競演会に市議会連として参加しました。この日も30度を超える猛暑でしたが、議員の中には熟練の踊り手もいて、皆で楽しんで踊ることができました。

**備中たかし松山踊りに
市議会連で参加しました**

**筑西市議会との友好
親善交流会を開催しました**

しました。今後も両市の交流を続けていくことを誓い合いました。

副委員長に森上昌生議員が就任しました。
全ての任期は10月23日までとなります。

7月3日と4日に、コロナ禍で交流を控えていた友好親善都市の茨城県筑西市議会訪問団が来高されました。訪問団は須藤茂市長と稻川新二議長をはじめとした議員10名に、市長部局および議会事務局の職員を含めた総勢15名でした。筑西市と高梁市は、1642年に水谷勝隆公が備中松山城主として入城したのが交流の機縁です。水谷氏は三代にわたり城主を務め、飛地である玉島港の整備や高梁川の高瀬舟による航路開発などを行いました。

訪問団の一行は藩主水谷氏の菩提寺である定林寺へ参拝、その後友好親善交流会を開催しました。翌日には備中松山城へ登城し、猫城主さんじゅーろーと触れ合い、山田方谷記念館を訪れるなど市内を視察しました。



水谷氏を通じた筑西市議会との絆▲

石田芳生前議長の議員辞職に伴い、石井聰美議員が新議長に就任しました。これに伴い、産業経済委員会の副委員長に新倉淳議員が、議会ICT化推進特別委員会の委員長に平松久幸議員が、

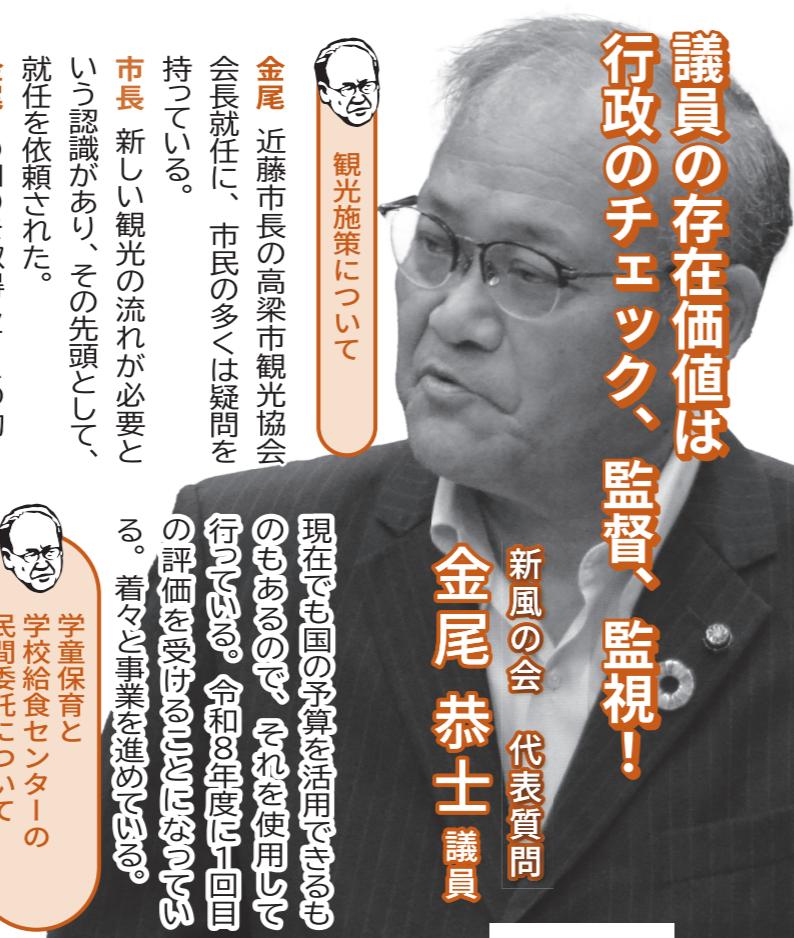
新議長が就任しました



石井聰美

お詫びと訂正

議会だより第59号4ページ目最下段の最後の文末が途中で切れておりました。文章の続きは、「（：賛成多数で可決されました）た。」です。同じく4ページ目最下段の中央、「真摯」のふりがな（なし）が誤った位置に表示されています。訂正して、お詫び申し上げます。



金尾 DMOを取得してこの約3年間、形成確立計画に沿って、計画が進められたのか。

市長 しっかりと進んでいない面もあるので、今回、新しいDMOに力を入れていくことにした。

金尾 旅行消費額など過去のデータもほとんどない。データなしでデータ分析などできない。

市長 個々のデータは取っていないかつた例が多い。これからデータを収集していくことになる。

金尾 吹屋が日本遺産に指定され約3年になる。その評価は、

産業経済部長 重点期間が外れた健康福祉部長 民間委託をしても、面接でしっかりと人材を見極めていく。日本版DBSについては、

金尾 日本版DBSは、担保され

健康福祉部長 慢性的な支援員不足があるが、民間委託で安定的な人材確保が期待できる。

教育長 給食センターも安定的な運営や経費の削減などにより、子ども・保護者・市にメリットとなる。

DBS（前歴開示及び前歴者就業制限機構）

子どもと接する仕事に就く人に特定の性犯罪の前科がないか確認する制度。現状の日本の法律・制度では、教育現場で児童に対するわいせつ行為で懲戒免職になったとしても、保育の現場でなら働くことが可能。教育は文部科学省の管轄であり、保育は厚生労働省の管轄のため、規制が存在しない。